

けやき



高井戸小学校 けやき学級 TEL&FAX 03-3334-1299

No. 445 R6 9月号

「自分で決めた課題にチャレンジ」

副校長 廣野 寛子

夏休みはいかがでしたか。

けやき学級の学習の様子を見ていると、子どもたちが自分で取り組む課題を決めて頑張る姿を見かけます。舌や口の動かし方のトレーニングや発音の練習など、難しい課題でも、決めた回数や言葉を意欲的に何回も練習する姿に感心しています。自分から主体的にかかわる姿勢は、結果にも出てきます。

けやき学級では、保護者の方の送迎のご負担のおかげで、通級のお子さんたちが学ぶことができています。ご自身の生活もお忙しい中、いつもありがとうございます。

2学期は、今まで学んできたことが積み重なり、保護者の方もお子さんも成果が少しずつ実感できるようになってきます。2学期もよろしく願います。

9月



2月	高井戸小学校 2学期始業式 けやき学級 2学期通級指導開始		
3火	都難言協 城西ブロック研究会		
4水	避難訓練 (AM)		
10火	都難言協 専門研究会		
14土	高井戸小学校 土曜授業日		
16月	敬老の日		
23月	秋分の日振替休日		

10月



1火	けやき学級地域・保護者向け理解啓発		
4金	高井戸小 開校記念日		
8火	都難言協 城西ブロック研究会		
9水	難聴学級小中交流会 (高井戸小学校)		一部
11金	～17日(木) 継続ケース会議期間 15日 (PM) (都難言協 城西ブロック研究会)		
21月	～25日(金) けやき学級個人面談週間 21日 (AM) 専門家診断		

11月6日(水) 15時～16時30分 全体交流会 ～けやきわくわく秋祭り～を行います!

今年度、けやき学級の交流会は「秋」となりました。けやき学級に通っているみんなが集まって、ゲームをしたり工作をしたりして交流を深めたいと思います。ぜひ、ご参加ください。

11月18日(月) 10時～12時 保護者の方向け講演会を開催します。

東京学芸大学名誉教授の相伴潔先生をお招きし、ご家庭でのお子さんとの関わりにおけるコツをお話いただきます。ぜひお越しください。

在籍学級担任連絡会



7月26日(金)の午後、在籍学級担任連絡会を行いました。
ご多用の折、ご参加いただきまして、ありがとうございました。

今年度もけやき学級の紹介、主訴別の概要説明や教材紹介の他、学習室の施設見学、情報交換を行いました。「連絡ノートに書かれていたことが実際にはどういうことなのか、よく分かった。」「教材が面白かった。在籍級でも取り入れられそうな教材があれば知りたい。」等、実際に来ていただいて理解を深めてくださった先生方がたくさんいらっしゃいました。今後も連携を大切にしながら通級指導をすすめていきます。



今の特集：難聴（集団行動における配慮）



【運動会・学芸会】

- ・練習段階から、指示を出す先生の顔がよく見える位置に座らせる。
- ・何をしたらよいかよく分かっている友達の近くに座らせる。
- ・個別の練習などで、前もって予習できるようにする。

★「配慮」のニーズは一人ひとり異なります。必ず、本人、保護者の方と「何を」「どのように行うか」について、事前に確認してください。

【避難訓練】

- ・事前に内容についての説明をしておく。
(サイレンや放送が騒音となることがあります。また、避難した広い場所で話を聞く、拡声器の声を聞く、防災頭巾をかぶったまま指示に従って動くことは、難聴の子にとって厳しい条件です。)

【宿泊行事】

- ・行動計画を事前に行動計画を知らせる。
- ・持ち物は、何を、どこで、どのように使うのか確認する。



【委員会やクラブ活動】

- ・児童と保護者と相談の上、周りの子どもたちへ、難聴について説明する。
(難聴について知らない子どもたちが大勢いる環境です。事前に理解を促す配慮や指導により、互いが理解し合い、楽しく活動することができます。)

★指導の際、先生がタブレットやスケッチブック等を携帯し、必要に応じて指示内容を書いて示すことも有効です。

【休み時間】

- ・遊びの様子をよく見る。
(休み時間は遊びに夢中になっているため、遊びのルール変更等が伝わりにくく仲間外れにされたと感じる子もいます。聞こえる子どもたちに説明するだけでなく、難聴の子どもに状況を伝えて、誤解を解くことも必要です。)

<参考文献>

『聴覚障害教育の基本と実践』 宍戸和成・古川勝也・徳永豊監修
宍戸和成・原田公人・庄司美千代編（慶応義塾大学出版社）